

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○貯留管等の整備(吉島地区)

床上浸水被害の解消・軽減を図るため、貯留管(雨水幹線)及びポンプ施設の段階的な整備を行います。

整備メニュー

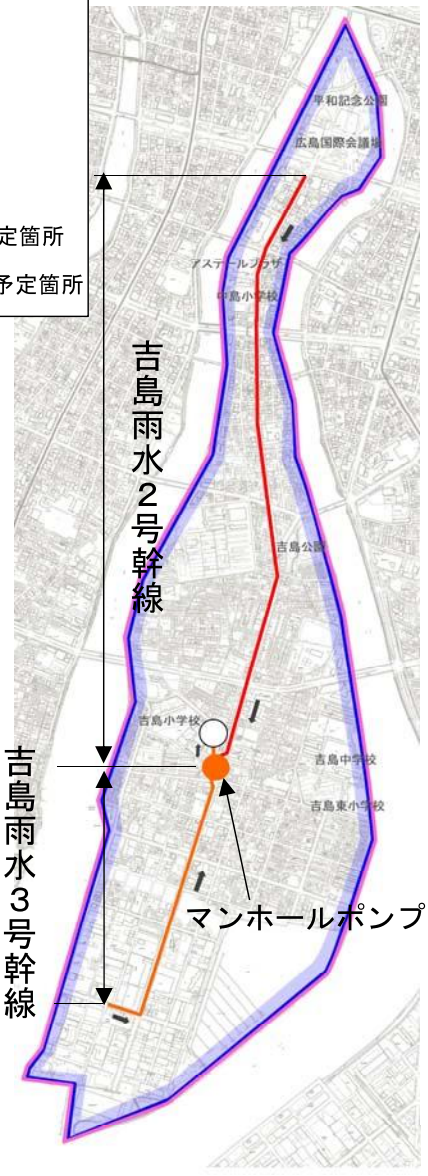
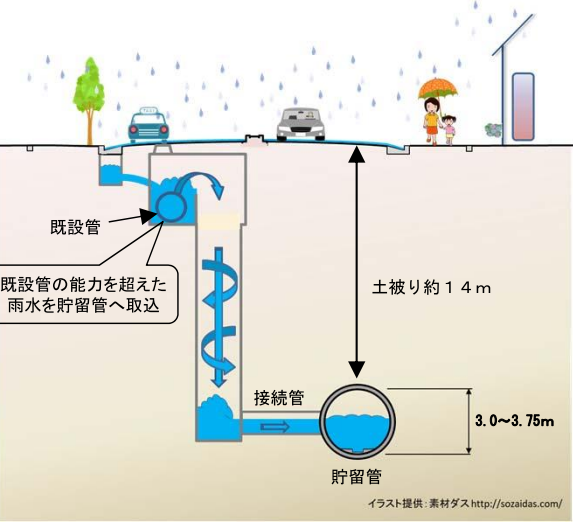
- 【整備メニュー】
- 吉島雨水3号幹線 (管径3,000mm)
 - 吉島雨水2号幹線 (管径3,750mm)
 - マンホールポンプ
- 短期 整備完了予定箇所
— 中長期 整備完了予定箇所

位置図



吉島地区

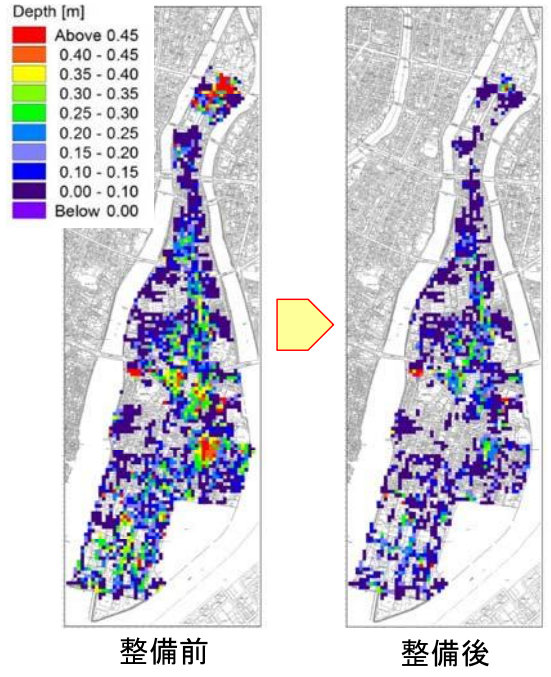
貯留管整備のイメージ図



整備効果

●10年確率降雨 (53mm/h) に対する整備効果(シミュレーション)

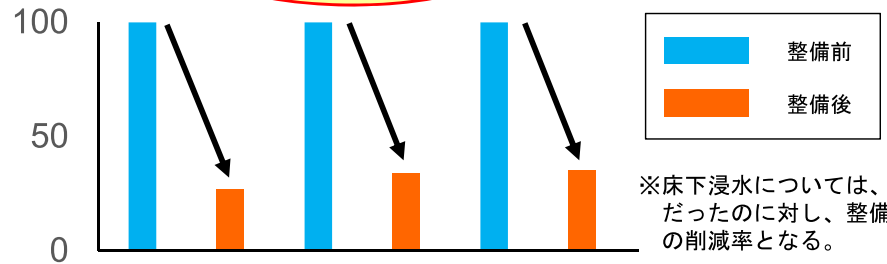
	整備前	整備後 (貯留管運用時)	削減率 (%)
床上浸水	(世帯) 110	(世帯) 30	73
浸水面積	(ha) 41	(ha) 14	66
浸水被害額	(百万円) 13,292	(百万円) 4,627	65



令和2年7月29日 (1時間最大雨量 38mm/h) 吉島通り道路冠水状況

整備効果 (%)

約7割削減



※床上浸水については、整備前が1,060世帯だったのに対し、整備後は573世帯と約5割の削減率となる。

【床上浸水世帯数】【浸水面積】【浸水被害額】